



元日に発生した能登半島地震、13年前の東日本大震災……

地震の教訓を胸に災害に備える

令和6年元日に発生し、甚大な被害をもたらした能登半島地震で、13年前の東日本大震災を思い起こした人もいるかと思います。地震は、台風などのようにあらかじめ予測できる災害ではありません。いつ起きても対応できるように、日頃から備えることがとても大切です。

地震対策、4つの確認！

家具の置き方、工夫していますか？

家具は壁に固定し、倒れないようにしましょう。ネジで壁に固定するのが一番ですが、壁に穴を開けることが難しい場合でも、穴を開けずに対策できるグッズが販売されています。



食料などの備蓄、十分ですか？

家族の人数×3日分を目安に食料や飲料水を備えておきましょう。1カ月に1～2回、備蓄食料を食べて、食べた分を買い足して備蓄していく「ローリングストック法」を活用すると、レトルト食品や缶詰、乾麺なども備蓄にすることができます。

非常用持ち出しバッグの準備、 できていますか？

乳幼児がいる家庭ではミルクや紙おむつなどを、持病のある方は常備薬などを持ち出し品に入れておく和良好的です。それぞれの家庭に必要なものが異なりますので、家族構成に合わせて非常時の持ち出し品決めておきましょう。

安否確認方法、決まっていますか？

災害時の電話回線が混雑している時でも使える「災害用伝言ダイヤル」は、「171」に電話すると、30秒以内の伝言の録音・再生ができます。登録した伝言は、自分の電話番号を知っている家族などが再生可能です。

通報時、119番映像通報システム (Live119) へのご協力をお願いします

音声だけでは把握が難しい通報があったときに、通報者のスマートフォンから映像での情報提供などを依頼する「Live119」を導入しています。電話での119番通報を受けた際、通信指令員から、撮影協力依頼や操作方法の説明などを行います。Live119での情報提供依頼を受けた場合には、ご協力をお願いします。



119番映像通報システムについて (茨城県ホームページ)